

第19回 山崎地区かるさる大作戦の整備支援・安全指導を実施

県では、野生動物との棲み分けや景観の保全などを目指して、里山林整備や地域住民による森づくり活動を支援しています。「山崎地区かるさる大作戦」は、里山（民家付近の山裾）の下草を刈ることで見通しを良くし、サルやイノシシなどの有害鳥獣が民家周辺に出没しにくくすることを目的に、平成18年から毎年開催されています。

この活動は、県の水と緑の森づくり事業（県民参加の森づくり）も活用しながら、地域一丸となり、継続的な維持管理を進めています。

県からは、作業間隔を取って安全に作業をすること、熱中症予防など安全管理について指導し、下刈り作業は怪我なく無事に完了し、見通しの良い里山となりました。

【活動の概要】

日時：令和7年8月24日（日）6：30～7：45

場所：朝日町山崎 辻岩崎地内 里山林周辺

内容：有害鳥獣防止柵・住居間の下刈り整備

参加者：約90名



準備万端！受付開始します



安全ヘルメットを受け取ります



大勢の方が集まって来ました



～開会式～ 山崎自治振興会長草原様 挨拶



新川農林振興センター森林整備課 利田課長挨拶



新川森林組合 鍋谷様より安全指導



いよいよ開始です



つるが生い茂っていました



皆様の熱意が伝わってきます



安全に配慮しながら行います



作業後、参加品の防振手袋を受取り



～閉会式～ 皆様暑い中、本当にお疲れ様でした